

おかえり

特集

ひきみとつながる。

UIターン情報誌 2025.3月

◆ふるさと匹見で夢を叶える

◆ひきみ瓦版 テーマ：子どもたちの活動

◆交流から滞在、そして定住へ

- 日帰り体験
- 田舎体験・ボランティア
- 田舎暮らし体験施設
- 空き家に関する各種事業

益田市立 匹見小学校
益田市立 匹見中学校

ふるさと匹見で夢を叶える

益田市立匹見小学校

溝田里美先生
大谷眞子先生

匹見町で生まれ育った溝田里美先生(31)と大谷眞子先生(26)が、母校の匹見小学校で教壇に立っています。母校で教鞭を執っている貴重な存在です。故郷への愛着と教育への情熱を胸に、子どもたちの成長を温かく見守る2人の想いを伺いました。

地域とのつながり教育活動を豊かに

3・4年生の担任を務める溝田里美先生は、教職9年目。自身も学んだ匹見小学校での勤務を希望し、念願を叶えました。小学生のときには走り幅跳びで市内大会優勝、中高では



前列右から 原屋定道校長、岡崎文祥先生
後列右から 溝田里美先生、花木美紀さん、
大谷眞子先生、渡邊浪枝さん

溝田先生と大谷先生は、原屋校長と岡崎先生の教え子でもあり、原屋校長と岡崎先生は、2人にとって心強い存在です。施設主員として長年勤める花木さんと、図書館支援員の渡邊さんは、ついつい「さっちゃん」「まこちゃん」と呼んでしまうことも。若い2人から元気をもらっています。

バレーボールに打ち込み、社会人になつてからはフルマラソンを完走するなど拔群の運動神経の持ち主です。

子どもが好きで、高校時代の友人に「小学校の先生に向いているのでは」と言われたことが後押しとなり、

先生を志しました。町内を歩けば、幼い頃にお世話になった大人たちが、今も「さっちゃん」と親しく声をかけてくれる温かいつながりがあります。校外学習では、同級生の父親が代表を務める地元企業を訪問し、子どもたちに「働く大人の姿」を見せる機会を作りました。地域住民とのつながりを大切にし、校外学習でも地域の協力を得られる関係性が、教育の幅を広げています。

将来の夢へ導いた恩師との出会い

一方、教職4年目で2年生を受け持つ大谷眞子先生は、小学生の頃から「将来は先生になる」と公言していました。納得できないことがあると先生とぶつかることもありましたが、そんなときに真正面から受け止めてくれた先生がいました。大人になり先生となった今、自身もまた子どもたちの気持ちに寄り添う存在でありたいと思っています。

大谷先生は、スキートのアルペン競技に打ち込んできたアスリートでもあります。「父の影響でスキーを始め、地元のおじちゃんたちと滑るのが楽しくて」、矢上高校に進学し、本格的に競技に取り組んできました。匹見小・中学校のスキー遠足では、生徒や児童への指導も行っている。

ます。「もっと上手になりたい」という向上心を持ち続け、「将来は県の技術員になって恩返しをしたい」と目標を掲げています。

2人が描く子どもたちの未来

溝田先生と大谷先生は、お互いの存在が励みになっています。大谷先生が小学5年のとき、中学3年だった溝田先生が生徒会長を務めていました。大谷先生にとって溝田先生は、「かつこいいお姉さんの存在」で、何事にも果敢に挑戦する姿勢を見習いたいと思っています。溝田先生も、「眞子ちゃんには自分にはないものを持っている」と互いを尊重し合っています。

溝田先生も大谷先生も、少人数教育のメリットを活かし、子どもたちに自信をつけさせたいと考えています。溝田先生は「匹見の良さを語れるようになってほしい」と願い、大谷先生は「児童数が少ないからこそ、多くの役割を経験できる。自信をもって外の世界に飛び出してほしい」と、子どもたちにエールを送ります。

彼女たちの背中を見て育つ子どもたちは、故郷を大切に思い、自分の可能性を信じて未来を切り拓いていくことでしょう。

匹見上地区

身近な素材で幅広い遊びを♪～くみくみだんボール♪～

年に1度、匹見上公民館職員が匹見保育所を訪れ、職員考案の遊びを通して園児の皆さんと交流をする「届ける学習」。令和6年度は、アート活動を通して感性と情緒を豊かにし、自ら学ぶ子どもを育てることを目的に活動されている津和野町芸術士の方をお呼びして、ダンボールあそびを企画しました。

家庭に眠るダンボールを、事前に保育士さんがチョキチョキと色んな形やサイズにカットし、当日は、園児たちが切り目や穴の開いたダンボールを自由な発想で「いろんなカタチ」に大変身!!犬を作って散歩させたり、アニメキャラのコスプレを作ったり……。普段から目にするダンボールですが、形が変わるのが面白く、熱中して1時間以上作り続ける子どもたちの姿が印象的でした(^^)♪



匹見下地区

中学生のボランティア活動が地域を笑顔に!



今年に入って3回目の雪景色となった2月22・23の両日、匹見下地区に匹見中学校の全校生徒7名が集まりました。今年度は「地域の役に立つことをしよう!」という目標の下、さまざまなボランティア活動に取り組んできた生徒たち。その一環として、「いいの里会館」で卒業生のお別れ会を楽しんだり、地域の小学生や大人の方々とともに清掃活動を行いました。そのおかげで、窓はすっかりきれいになり、雑巾がけレースの成果でホールや廊下もピカピカに!

寒い中でしたが、熱気あふれる充実したひとときとなりました。中学生の皆さん、本当にありがとう!



道川地区

道川探検隊



平成29年3月に道川小学校が匹見小学校と統合し、地域行事以外で子どもたちが道川公民館に足を運ぶ機会がほとんどなくなりました。そうした中、少しでも足を運んで地区を知り、思い出を作ってもらおうと、道川地区青少年健全育成協議会を中心に、令和3年度から「道川探検隊」と題して体験活動を行っています。

6年度は、匹見小学校の協力の下、秋休み期間中の10月11日に実施しました。地区で特産品にしようと栽培している「古代あずき」の収穫体験、昼食として飾り巻き寿司作り、巨大力ボチャでハロウィン飾り作りを行い、1日楽しく過ごしてもらいました。地域の方が栽培し、無償提供してくださった巨大力ボチャを通じて、子どもたちが地域の温かさを少しでも感じてくれたら嬉しいです。





交流から滞在、そして定住へ

ちょっと匹見を体験したい方は…… (令和7年3月末現在の情報です)



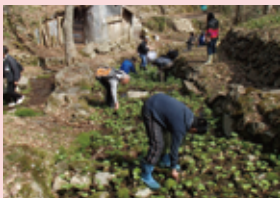
みよし 日帰り体験「三四四」

体験内容：料理体験（押し寿司、巻き寿司、郷土料理「うずめ飯」、手打ちそば、餅）等
料 金：直接お問い合わせください
住所・連絡先：益田市匹見町道川イ 214 TEL/FAX 0856-58-0020（三好）



うつだに 日帰り体験「内谷とちの郷」

体験内容：料理体験（わさび漬け、こんにゃく、とちもち）、わさび収穫体験
料 金：直接お問い合わせください
住所・連絡先：益田市匹見町石谷口 561 TEL/FAX 0856-56-0589（村上）



わさび収穫体験

【田舎体験】

匹見町では、豊かな自然を活かした体験をはじめ、「田舎料理体験」や「ものづくり体験」、「収穫体験」「歴史・文化体験」などを楽しむことができます。



稲苗箱運搬作業

【ボランティア】

少子高齢化が進む匹見町では、集落内の共同作業やイベント開催などが年々困難になっています。そこで、地域外の方にボランティア会員登録をしていただき、軽度の作業に携わってもらうことで、田舎と都市との交流を図っています。

もっと匹見に滞在したい方は……

田舎暮らしの体験や、農林業またはその他の産業に関する技術や経営ノウハウを習得するために滞在可能な施設として、期限付きのお試し施設「益田市立田舎暮らし体験施設」を開設しています。



〈使用者の条件〉

- (1) 益田市への移住を強く希望し、田舎暮らしを体験しようとする人
- (2) 農林業その他の産業に関する技術や経営ノウハウの習得のため研修を受けようとする人

〈使用期間〉 1ヶ月以上3年以内

〈使用料〉

令和7年3月末現在

施設区分	戸数（空き戸数）	使用料（月額）
単身用（1DK）	2（0）	8,100円
世帯用（3DK）	2（0）	16,000円

※ 1部屋に1台分の駐車スペースを用意しています。

〈使用について〉

施設の使用については、市長の許可を受ける必要があります。使用希望の人は、「田舎暮らし体験施設使用申込書」を下記までご提出下さい。（空室状況等詳しくは、益田市のホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。）

匹見への定住をお考えの方は……

●Uターン相談窓口

匹見への移住をお考えの方のために、相談窓口を設置しています。困ったことやわからないことがあれば、お気軽に下記窓口まで、ご相談ください。



定住情報

空家に関する各種事業

空き家バンク制度

益田市は、空き家の有効活用とUターン希望者の定住促進を図るため、「空き家バンク制度」を創設しています。

この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、Uターン希望者にそれぞれ登録してもらい、益田市役所及び匹見分庁舎が窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。

年々、田舎暮らしを強く希望する方々が増えています。匹見町内に空き家をお持ちの方で、空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。

益田市空き家改修事業

「空き家バンク制度」の住宅を利用して定住する場合、その住宅を改修した際の経費の3分の1以内（上限30万円）を①空き家の購入者または入居者（Uターン者に限る）、または②Uターン者と賃貸借契約を締結した空き家の所有者に補助します。ただし、経費の額が30万円以上であるものに限りません。

定住・Uターンに関する
問い合わせ先

益田市役所匹見分庁舎 匹見地域総務課
〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260

電話：0856-56-0300
FAX：0856-56-0362



バックナンバー